

位置と地勢

長野県は本州のほぼ中央に位置し、その境は8県に接し、東西約120km、南北約212km、面積13,562km²の広大な山岳県です。

槍ヶ岳を有する北アルプスや、雄大なアブローチの南アルプス等、四方を高い山々に囲まれ、これら急峻な山地に源を発した谷川はしだいに流量を増し、犀川・千曲川は日本海へ、天竜川・木曽川は太平洋へと豊かな水資源を運んでいます。

地質は、東日本と西日本に本州を分けるように糸魚川静岡構造線と中央構造線が縦走り、褶曲や断層によって複雑な様相を呈しています。

これら山岳や河川により県土は大別して東信・南信・中信・北信の4つの地域に分けることができ、それぞれが独特の歴史や文化・経済を持った地域社会を形成しています。



位置	南端	東経 137° 34' 43"	北緯 35° 11' 55"
	北端	東経 138° 31' 25"	北緯 37° 01' 49"
行政区画	19 市 23 町 35 村 (H22.3.31)		
総面積 ^{※1}	13,562km ² (R6.1.1)		
人口 ^{※2}	2,000,991 人 (R6.1.1)		
人口密度	148 人 / km ²		
宅地面積 ^{※3}	537km ² (R5.1.1)		
耕地面積 ^{※4}	1,044km ² (R5.7.15)		
森林面積 ^{※5}	10,216km ² (R2.2.1)		

- ※1 国土地理院全国都道府県市区町村別面積調より
 ※2 長野県の毎月人口異動調査より
 ※3 令和5年度固定資産の価格等の概要調書より
 ※4 農林水産省 作物統計調査より
 ※5 農林水産省 2020年農林業センサスより

気象

気象は、典型的な内陸性気候を示すものの、南北に長い複雑な地形から一様でなく、県の西部から南部にかけては年間降雨量が1,500mmに達し、一方東部・北部では1,000mm前後の少雨地帯です。

また、県の北部では1mを超える降雪地帯で、特に新潟県や富山県との県境地域では、3mを超える世界的にも有数の豪雪地帯です。



池の平湿原と鏡池：東御市

